

屋根借りメガソーラー事業

太陽光発電所の設計・施工と自社発電所の運営を手掛ける日本ベネックス（小林洋平社長、長崎県諫早市）は、物流施設の屋根を利用した「屋根借りメガソーラー」事業を展開している。

対象は約5000平方メートルから

甲子園のバックスにいる同社では、2012年に環境エネルギーD大型映像装置の取り回しを得意として、2014年に「屋根



小林社長

「屋根借り」のメガソーラーとして、当時国内最大の「ベネックス流山ソーラーポート」を千葉県流山市に完成させた。同社は先月19日、同印西市で伊藤忠アドバンス・ロジスティクス投資法人が運用を行う物流施設「アイミッシュionsパーク印西」の屋根を賃借したメガソーラー「ベネックス印西ソーラーポート」の運転を開始。単独の物流施設における屋根借りメガソーラーとしては国内最大級の約3MWを誇り、高圧太陽光発電所では国内初の「ノンファーム型接続」で稼働したケースとなる。

これまでの実績とノウハウを生かし、工夫している」と語る。「屋根借り」の対象は、約5000平方メートルから。「新設の倉庫や物流センターだけでなく、強度がなければ既存施設でも問題ない」という。

「太陽光発電装置は、工場立地法で「環境施設」にあたるなど、メリットもあるはず」。工事期間は約2〜3か月で、原則、日中に行われる。小林社長は、「電力会社への売電がメインだが、自家消費も提案できる」とし、「FIT制度（固定価格買取制度）に依存しない再生可能エネルギーの普及・促進のため、ピークカット用蓄電池や、自家消費型太陽光発電所の設置なども積極的に進めていく」と語る。

「屋根借り」の対

（高橋領子）

（高橋領子）

「屋根借り」のメガソーラーとして、当時国内最大の「ベネックス流山ソーラーポート」を千葉県流山市に完成させた。同社は先月19日、同印西市で伊藤忠アドバンス・ロジスティクス投資法人が運用を行う物流施設「アイミッシュionsパーク印西」の屋根を賃借したメガソーラー「ベネックス印西ソーラーポート」の運転を開始。単独の物流施設における屋根借りメガソーラーとしては国内最大級の約3MWを誇り、高圧太陽光発電所では国内初の「ノンファーム型接続」で稼働したケースとなる。

「屋根借り」の対象は、約5000平方メートルから。「新設の倉庫や物流センターだけでなく、強度がなければ既存施設でも問題ない」という。

「太陽光発電装置は、工場立地法で「環境施設」にあたるなど、メリットもあるはず」。工事期間は約2〜3か月で、原則、日中に行われる。小林社長は、「電力会社への売電がメインだが、自家消費も提案できる」とし、「FIT制度（固定価格買取制度）に依存しない再生可能エネルギーの普及・促進のため、ピークカット用蓄電池や、自家消費型太陽光発電所の設置なども積極的に進めていく」と語る。

ベネックス印西ソーラーポート

